

令和7年度 高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	亀阜小学校
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	1名 (主な役職) PTA 会長



1. 地域と学校が共に目指している事

- ・「かめおかは地域で子どもを育てる！」というスローガンのもと、健やかな子どもたちの成長を願い、学校、保護者（PTA 他）、地域（コミセン）がうまく連携を取りながら「亀阜流コミュニティスクール」を目指している。
- ・学校は「風」、地域は「土」、コミュニティスクールは変わらぬ地域が大事と考え、保護者半分、地域半分の「おやじの会」がコーディネーターとなり活動を進めている。

2. 活動の内容

【第1回】 6月18日（水）

- ・学校運営協議会の目的の確認
- ・令和7年度の学校経営方針を説明し、承認を得る。
- ・年間計画の確認
- ・児童の様子についての情報交換

【第2回】 10月29日（水）

- ・令和7年度前期の学校の取組や学校経営に関する中間評価について
- ・児童の様子についての情報交換
- ・学校・地域の連携、協働活動について意見交換

【第3回】 1月28日（水）

- ・令和7年度の学校の取組や学校評価について説明と質疑応答
- ・令和8年度の学校経営について説明
- ・学校・地域の連携、協働活動について意見交換

3. 今年度の成果

- ・地域の方々が、亀阜を大切に思い、よりよくしたいという思いをもって、主体的に活動や援助をしてくれて大変ありがたかった。
- ・学校運営協議会で協議されたことは、教職員にも伝え、どうすれば実行できるか考え、行動することができた。そんな中、亀阜校区大文化祭や昔遊びの会が実現した。そこには、学校が、コーディネーターや地域の方と日頃から気軽に相談したり、ともに活動したりできる環境があることが大きい。
- ・今後も、地域や保護者と連携を図りつつ、より良い学校の教育活動、亀阜プライドの醸成につなげていきたい。

★石清尾八幡宮秋祭りでの讃岐提灯作り（9月）

亀阜おやじの会の方々と一緒に、3年生児童が讃岐提灯を作成した。讃岐提灯には、作成した子どもたちの思い思いの絵や言葉が描かれ、石清尾八幡宮秋祭りの参道を明るく照らした。その後、提灯は亀阜小学校の1階通路にも飾られ、みんなの目を楽しませてくれた。

★学習参観・亀阜大文化祭 I Love 亀阜祭（11月15日）（コミセン、PTA、おやじの会共催）

学習参観と校区の大文化祭の合同開催が実現した。児童や地域の方が、それぞれ自分の得意なことをステージで披露したり、バザーで触れ合ったりと、地域と学校が連携した1日となった。地域とともにある学校の姿や役割を実感する機会となった。

★正門前のイルミネーション設置（12月～3月）

昨年度より設置しているイルミネーションを、コミュニティ協議会の支援を受け更にパワーアップし明るいまちづくりと防犯を兼ねて設置した。メディアにも取り上げられ、学校が地域のシンボルとしての役目を果たしていることが改めて認識されたと感じる。防犯灯として点灯を続けており、一定の防犯効果を果たしている。

★昔遊びの会（2月17日）

地域の方や見守り隊の方々をお招きし、1年生による「昔遊びの会」が開催された。

「おはじき」「お手玉」「けん玉」「かるた」「あやとり」「はねつき」「こま」の7つのコーナーに分かれて、それぞれの名人として子どもたちに関わり、一緒に遊んでくれた。また、幼保こ・小連携の会で話題に上げたことで、亀阜幼稚園の年長児も一緒に参加してくれ、賑やかな会となった。

4. 次年度に向けての課題

- ・学校運営に関する協議、意見交流の時間を多くとり、出席者の方々からの意見をいただく。また、それを全教員で共有し、学校運営に生かす。
- ・協議、意見交流が活発になるように、事前に、司会の教育後援会会長に協議内容を伝え、話し合いたい内容を共有しておく。

地域学校協働活動

コーディネーター

1. コーディネーターの主な活動内容

No	項目	内容
①	学校とおやじの会の活動	●年間：あいさつ運動、おやじと宿題しようぜ ・春：卒業生へエール作成、新1年生へのさくらフォト、お花見、ヤゴ救出大作戦（3年理科の授業）、屋島宿泊学習支援（5年生）、運動会支援、学校かくれんぼ ・夏：夏のプール活動支援、花火大会、夢集会 ・秋：バザー出店（お化け屋敷）、夜の体育館（防災キャンプ）、さぬき提灯作成（石清尾八幡秋季大祭）、ジャンピングボード制作 ・冬：餅つき、セアカコケグモ退治、防災教育講話 詳細な活動内容はこちら⇒ https://kameokaoyaji.com/info/

②	3 世代交流：学校と地域（コミセン他）とおやじの会の活動	● 年間：コミュニティ協議会活動（役員、分科会長）、学校/地域行事支援 ・ 春：市立祭支援（石清尾八幡）、コミセンローカル番組出演、招待お花見会 ・ 夏：ホタル活動、児童との意見交換会、教員との意見交換会、夏祭り運営、民協フェスタ支援 ・ 秋：大文化祭運営（バザー共催）、石清尾秋季大祭（お宝持ち、ちょうさ、さぬき提灯他） ・ 冬：ホタル育成、コミセン広報誌作成、亀阜小学校正門イルミネーション
---	------------------------------	---

2. 苦労したことや、今後解決しようと考えている事

- ・ 地域との連携の充実。特に地域が学校に来られる環境の創成。自治会や民生委員などが実施してくれている登下校時見回り活動などが高齢化のため win-win となる活動への移行（子ども民生委員など）。
- ・ 全体的にうまくいっているが、まだまだ改善できる部分は多く感じる。

3. 成果・効果

- ・ 「地域で子供を育てる！」というスローガン通りに、学校というよりは「子ども」を中心とした地域学校協働活動が展開できている。学校-保護者-地域との連携を図ることができている。

4. これまでの活動全般を通して感じていることや、今後の展望など

- ・ 特別なことはしていないが、学校や子どもに対しての活動を楽しんでいたら自然と地域を巻き込んだ 3 世代活動が生まれてきた感じ。
- ・ 地域にはまだまだ埋もれている「人材」が多く、いかに発掘し仲間に取り入れるかが重要。「亀阜おやじの会」も多種多様な方が所属してくれるようになり、それぞれの得意分野を生かすことで、学校、地域への貢献と逆に恩恵をフィードバックしてもらえるような関係が構築できてきている。
- ・ 継続的に活動ができるよう、次の担い手の育成も続けている。

学 校

1. 成果・効果と今後の見通し

- ・ 地域の方々が、亀阜愛をもって主体的に活動や援助をしてくれた。
- ・ 学校運営協議会だけでなく、日頃から気軽に相談したり実行したりできる環境があることで、地域や保護者と連携を図りつつ、学校の教育活動がよりよいものになった。
- ・ 亀阜プライドの醸成にもつながった。